

伊庭内湖周辺におけるホンモロコ遊漁の採捕尾数の推定

亀甲 武志・岡本 晴夫・氏家 宗二

1. 目的

伊庭内湖周辺ではホンモロコの産卵保護を目的として平成 24 年 4 月 1～30 日、平成 25 年 4 月 16 日～5 月 15 日の 1 ヶ月間刺し網などのホンモロコ漁業を禁止する琵琶湖海区漁業調整委員会指示が発令された。しかし、ホンモロコ遊漁に関してはその実態や採捕尾数などは不明であったことから特に規制はかけられていない。そこで、今後のホンモロコ遊漁の管理策を検討する基礎資料を得ることを目的に伊庭内湖周辺での遊漁の実態と採捕尾数の推定を試みた。

2. 方法

伊庭内湖周辺で釣りによるホンモロコ採捕尾数の推定は調査日を 1 次抽出単位、釣獲状況の聞き取り調査を行った遊漁者を 2 次抽出単位とした 2 段階抽出によった。釣獲率や遊漁者数は時期ごとに変化したので、月ごとに分けて推定した。遊漁者数の把握は、遊漁者の多くが釣りをする午前 10 時から午後 2 時に目視により計数した。聞き取り調査は聞き取りを行った段階での釣獲時間と釣獲尾数を聞き取った。投網、たもすくいによる遊漁者数についても同様に計数してから、聞き取りや採捕状況から単位時間あたり採捕尾数を推定した。

3. 結果

平成 25 年 3 月中旬から 5 月中旬の合計 64 日間中、25 日間遊漁者数の計数と聞き取り調査を行った。そのうち 1 日間は遊漁者数の日内推移を調査したところ、釣りは早朝から夕方まで釣りをを行う人が多く、聞き取り調査の結果と合わせて一日あたり平均 8 時間釣りをすると推定された。同様に投網、たもすくいでは午後から行う人が多く、一日あたり平均 4 時間行うと推定された。また調査期間中の

総遊漁数は 30 人から 150 人で推移し、5 月の連休以降は減少した（図 1）。たもすくいと投網では 4 月中旬以降から増加した。各遊漁による採捕尾数の合計は約 22 万尾と推定され、1 尾あたり 11.6g（伊庭内湖周辺での漁獲魚の平均重量）とすると約 2.5 トン採捕されていると推定された（表 1）。平成 24 と比較して平成 25 は釣りによる採捕尾数は約 3 分の 1 に減少した。

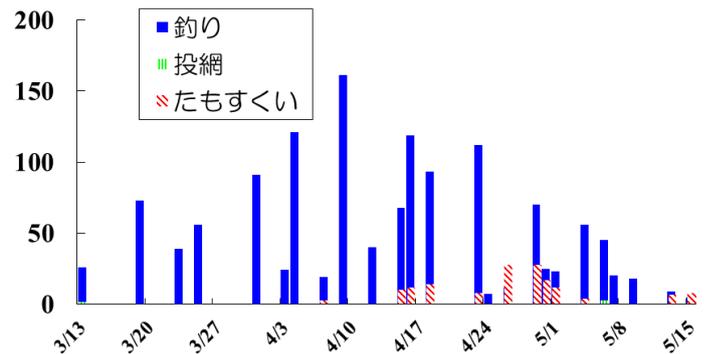


図 1 調査期間中の遊漁者数の推移

表 1 遊漁によるホンモロコ採捕尾数の推定値（尾）

釣り	88,538
投網	47,797
たもすくい	78,867
合計	215,202